

**第63回日本実験動物学会総会
プログラム**

総合プログラム

日本実験動物学会通常総会

5月19日(木) 13:30～14:10 第1会場

学会賞授与式および受賞講演

5月19日(木) 14:15～15:45 第1会場

■名誉会員

高垣 善男 (元中外製薬)
降矢 強 (元国立医薬品食品衛生研究所)
前島 一淑 (慶應義塾大学名誉教授)

■日本実験動物学会特別賞

李 栄純 (ソウル国立大学名誉教授、元韓国実験動物学会理事長)

■功労賞

須藤 カツ子 (東京医科大学)
吉川 泰弘 (千葉科学大学)

■安東・田嶋賞

L-1 バイオリソースに資する発生工学技術の開発とその応用研究
小倉 淳郎 (理化学研究所バイオリソースセンター)

■奨励賞

L-2 順・逆遺伝学的手法を駆使した変異マウスの異常形質原因遺伝子の解析
水野 聖哉 (筑波大学生命科学動物資源センター)

■最優秀論文賞

Single-step generation of rabbits carrying a targeted allele of the tyrosinase gene using CRISPR/Cas9
(CRISPR/Cas9を用いた簡便なウサギチロシナーゼ遺伝子の破壊)

Experimental Animals Vol. 64, No. 1, 31-37, 2015

本多 新^{1,2)}・廣瀬 美智子²⁾・山海 直³⁾・ヤスミン ルブナ³⁾・湯澤 和明³⁾・本勝 希実子¹⁾・
伊豆 美奈¹⁾・井口 純⁴⁾・伊川 正人⁵⁾・小倉 淳郎²⁾

¹⁾宮崎大学テニユアトラック推進機構

²⁾理化学研究所バイオリソースセンター

³⁾医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター

⁴⁾宮崎大学iR推進機構

⁵⁾大阪大学微生物病研究所

■国際賞 発表日時：5月18日(水) 16:50～17:30 第3会場

O-62 Yuanwu Ma (中国)

O-63 Heng-Yi Chen (台湾)

O-64 Seonggon Kim (韓国)

O-65 Devi Kartika (インドネシア)

特別講演

5月19日(木) 16:00～17:00 第1会場 特別講演

座長：伊藤 守(実験動物中央研究所)

PL 脊髄再生医療の実現に向けて
中村 雅也(慶応義塾大学整形外科)

市民公開講座

5月20日(金) 14:00～16:00 第1会場

テーマ：私たちの健康を支える実験動物

座長：宇山 恵子(京都府立医科大学)、秦 順一(実験動物中央研究所)

C-1 がんのない社会を目指して：人を対象とした疫学研究と動物実験の役割
津金 昌一郎(国立がん研究センター社会と健康研究センター)

C-2 時代とともに進化してきた実験動物
横山 峯介^{1,2,3}(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²新潟大学脳研究所、³東海大学医学部)

C-3 ヒトの健康を支える小さな命への感謝～倫理的な実験動物の扱い方について～
金井 正美(東京医科歯科大学 実験動物センター)

シンポジウム(学術集会委員会企画)

5月18日(水) 14:00～17:00 第1会場

テーマ：腸内細菌による生体恒常性維持～腸内細菌叢が引き起こす疾患～

座長：浅野 雅秀(京都大学)、角田 茂(東京大学)

S1-1 無菌動物とノトバイオート動物
平山 和宏(東京大学大学院農学生命科学研究科)

S1-2 腸内細菌が産生する短鎖脂肪酸と生体防御・免疫系
大野 博司(理化学研究所統合生命医科学研究センター)

S1-3 腸内細菌代謝産物、短鎖脂肪酸と肥満
木村 郁夫(東京農工大学大学院農学研究院応用生命化学専攻)

S1-4 肥満による肝がん促進機構～腸内細菌代謝物の関与～
大谷 直子(東京理科大学理工学部応用生物科学科)

S1-5 腸内細菌とアレルギー、炎症
渋谷 彰(筑波大学医学医療系、生命領域学際研究センター)

S1-6 腸内細菌を利用したIBD治療戦略
金井 隆典(慶応義塾大学医学部内科学(消化器))

ミニシンポジウム1 (動物福祉・倫理委員会企画)

5月18日(水) 9:30～11:00 第1会場

テーマ：動物実験3Rsのエビデンス

座長：三好 一郎(東北大学)、國田 智(自治医科大学)

MS1-1 動物の安楽死に関するガイドライン：米国獣医学会2013年度版

鈴木 真(沖縄科学技術大学院大学)

MS1-2 実験動物の苦痛を軽減するための麻酔・疼痛管理

山下 和人(酪農学園大学獣医学群獣医学類伴侶動物医療学分野)

MS1-3 医学統計の基礎

宮田 敏(東北大学大学院医学系研究科循環器EBM開発学寄付口座)

ミニシンポジウム2

5月18日(水) 11:00～12:30 第1会場

テーマ：ヒト化臓器モデルによる医学/創薬研究の新展開

座長：末水 洋志(実験動物中央研究所)

MS2-1 ヒト化マウスを用いた薬物動態研究

神村 秀隆(積水メディカル株式会社創薬支援事業部事業企画室)

MS2-2 肝細胞キメラマウスを用いたウイルス肝炎の創薬研究

○疋田 隼人、竹原 徹郎(大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学)

MS2-3 iPS細胞を用いたヒト代謝性臓器の創出

○武部 貴則^{1,2}、谷口 英樹¹(¹横浜市立大学 臓器再生医学、²シンシナティ小児病院)

ミニシンポジウム3

5月19日(木) 9:15～10:45 第1会場

テーマ：実験動物in vivoイメージング技術の展開

座長：小牧 裕司(実験動物中央研究所)

MS3-1 実験動物用in vivoイメージング装置の最新情報

荒木 力太(ブルカー・バイオスピン株式会社)

MS3-2 マーモセット神経疾患モデルのMRI

○疋島 啓吾¹、小牧 裕司^{2,3}、岡野 栄之³(¹沖縄科学技術大学院大学、²(公財)実験動物中央研究所、³慶應義塾大学医学部)

MS3-3 高磁場MRIと機能性造影剤による小動物in vivoイメージング

青木 伊知男(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構)

ミニシンポジウム4

5月19日(木) 10:45～12:15 第1会場

テーマ：ナノテクノロジーが拓く未来医療

座長：竹内 昌治(東京大学)

MS4-1 マイクロナノデバイス技術の医療展開

竹内 昌治(東京大学生産技術研究所)

MS4-2 ナノDDSを用いたmRNAデリバリーとその応用

位高 啓史(東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター臨床医工学部門)

MS4-3 高分子ミセル型ナノマシンが拓く未来医療

○西山 伸宏¹、片岡 一則²(¹東京工業大学資源化学研究所、²ナノ医療イノベーションセンター)

ミニシンポジウム5

5月20日(金) 9:15～10:45 第1会場

テーマ：発生工学研究の新展開～マウス以外の動物の疾患モデル確立に向けて～

座長：佐々木 えりか(実験動物中央研究所)

MS5-1 発生工学を利用した多能性幹細胞の質的評価

本多 新(宮崎大学テニュアトラック推進機構)

MS5-2 霊長類における遺伝的相同個体の作製技術について

外丸 祐介(広島大学自然科学研究支援開発センター)

MS5-3 ナイーブ型多能性幹細胞

高島 康弘(京都大学iPS細胞研究所)

ミニシンポジウム6(実験動物感染症対策委員会企画)

5月20日(金) 10:45～12:15 第1会場

テーマ：微生物検査におけるイノベーションと実際

座長：林元 展人(実験動物中央研究所)

MS6-1 細菌同定検査におけるイノベーション

林元 展人((公財)実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター)

MS6-2 血清検査におけるイノベーション

丸山 滋(日本チャールス・リバー株式会社)

MS6-3 現場からみた微生物検査におけるイノベーション

池 郁生(国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター実験動物開発室)

LASセミナー1 「遺伝子組換え動物(ゲノム編集と法規制)」

5月18日(水) 15:30～17:00 第2会場

企画：三浦 竜一(東京大学)

LAS1-1 ゲノム編集による遺伝子組換え動物作製の基礎と応用

講師：藤井 渉(東京大学)

LAS1-2 遺伝子組換え生物とカルタヘナ法

講師：三浦 竜一(東京大学)

LASセミナー2 「今さら聞けないES細胞、iPS細胞(Ⅱ)」

5月19日(木) 10:00～11:30 第3会場

企画：佐々木 えりか(慶應義塾大学/実験動物中央研究所)

LAS2-1 基本の「き」から理解するES細胞・iPS細胞(質疑応答を含む)

講師：本多 新(宮崎大学テニユアトラック推進機構)

LASセミナー3 「実験動物福祉」

5月20日(金) 9:15～12:00 第3会場

企画：塩見 雅志(神戸大学)、高井 了(中外製薬)

LAS3-1 ARRIVE ガイドライン：動物を用いた研究の信頼性の担保

講師：久和 茂(東京大学)

LAS3-2 げっ歯類/麻酔法の基礎と応用

講師：岡村 匡史(国立国際医療研究センター)、桐原 由美子(島根大学)

ホスピタリティルーム

5月18日(水) 9:30～17:00

5月19日(木) 9:15～17:00

5月20日(金) 9:15～13:00

【HR1】 日本クレア株式会社 会場：音楽ホール1F 楽屋1

【HR2】 日本チャールス・リバー株式会社 会場：音楽ホール1F 楽屋2

【HR3】 ハムリー株式会社 会場：音楽ホール1F 楽屋3

器材展示

5月18日(水) 9:30～17:00

5月19日(木) 9:15～17:00

5月20日(金) 9:15～13:00

会場：音楽ホールロビー(1F、2F)、音楽工房 企画展示室

口頭発表

5月18日(水)
第2会場

口頭発表 I

疾患モデル I

9:30 ~ 10:10 座長 末水洋志(実験動物中央研究所)

- O-1 NOG hIL-3/GM-CSF/IL-5 Tg マウスを用いたヒト喘息モデルの開発
○伊藤 亮治¹、布村 聡²、片野 いくみ¹、川井 健司¹、高橋 武司¹、後藤 元人¹、小倉 智幸¹、高橋 利一¹、伊藤 守¹
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野)
- O-2 免疫ヒト化マウスを利用した麻疹ウイルス感染モデルの構築
○中西 友子^{1,2}、米田 美佐子¹、藤幸 知子¹、雨貝 陽介¹、斎藤 泉²、甲斐 知恵子¹
(¹東京大学医科学研究所実験動物解析施設、²東京大学医科学研究所遺伝子解析施設)
- O-3 ヒト臨床検体由来がん組織の移植対象とした場合におけるNOGマウスとNSGマウスの比較
○土橋 悠、岡田 綾、樋口 はづき、小澤 和典、片平 清昭
(福島県立医科大学医療-産業TRセンター)
- O-4 自己炎症性症候群モデルマウスにおけるマスト細胞活性化経路の包括的遺伝子発現解析
○阿部 幸一郎¹、布村 聡²、三木 智代¹、羅 智靖³、堀家 慎一³、田嶋 敦⁴
(¹東海大学医学部分子生命科学、²日本大学医学部、³金沢大学学際科学実験センター、⁴金沢大学医薬保健研究域医学系)

5月18日(水)
第2会場

口頭発表 I

疾患モデル II

10:10 ~ 10:50 座長 岡村匡史(国際医療センター研究所)

- O-5 SAM P1マウスのヘルペスウイルス潜伏感染下アルツハイマー病モデルにおける脳内βアミロイドの動態
○田中 聖一¹、高屋敷 優子²、永島 博²
(¹福岡大学アニマルセンター、²(株)アニマルケア)
- O-6 凍結脳損傷モデルを用いたCav2.1α₁変異*rolling Nagoya*マウスの神経変性抵抗性に関する検討
○金 泰延、新美 君枝、高橋 英機
(理化学研究所 脳科学総合研究センター動物資源開発支援ユニット)
- O-7 TRM/Kyoラットにおける本態性振戦の原因遺伝子の解明
○西谷 あい¹、田中 美有¹、清水 佐紀²、國澤 直史²、横江 繭子¹、吉田 裕作³、鈴木 登志郎³、佐久間 哲史⁴、山本 卓⁴、桑村 充⁵、竹中 重雄⁶、大野 行弘²、庫本 高志¹
(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²大阪薬科大学薬品作用解析学、³日本エスエルシー、⁴広島大学理学研究科、⁵大阪府立大学獣医病理、⁶大阪府立大学細胞分子生物学)
- O-8 アトピー性皮膚炎モデルラットの治療試験
○庫本 高志¹、横江 繭子¹、西谷 あい¹、日合 弘¹、椋島 健治²
(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²京都大学大学院医学研究科皮膚科学)

5月18日(水)

第2会場

口頭発表 I

疾患モデルⅢ

10:50 ~ 11:30

座長 吉見一人(遺伝学研究所)

O-9 Myosin VI変異ヘテロ接合体が発症する進行性難聴の病態

○関 優太、宮坂 勇輝、鈴木 沙理、吉川 欣亮
(東京都医学総合研究所・哺乳類遺伝プロジェクト)

O-10 外有毛細胞特異的遺伝子 Oncomodulin ノックアウトマウスにおける聴覚障害

○松岡 邦枝¹、宮坂 勇輝¹、和田 健太²、安田 俊平¹、設楽 浩志¹、山口 碧¹、多屋 長治¹、吉川 欣亮¹
(¹東京都医学総合研究所、²東京農業大学生物産業学部)

O-11 マウス発生過程においてヒストン脱アセチル化酵素阻害剤が誘発する遺伝子発現変化と椎骨形成異常の解析

○谷本 祥、谷口 真沙美、阿部 幸一郎
(東海大学医学部基礎医学系分子生命科学)

O-12 新規高脂血症及び動脈硬化性疾患モデル：アポE欠損ウサギの樹立

○新見 学¹、北嶋 修司²、松久 葉一²、Bo Ning¹、Chuan Wang¹、Dongshan Yang³、Jifeng Zhang³、Y. Eugene Chen³、範 江林¹
(¹山梨大学大学院総合研究部医学域分子病理学講座、²佐賀大学総合分析実験センター生物資源開発部門、³ミシガン大学メディカルセンター)

5月18日(水)

第2会場

口頭発表 I

脳・神経・行動

11:30 ~ 12:10

座長 吉原 享(京都大学)

O-13 ヒト精神疾患モデルマウス行動表現型の RDoC (Research Domain of Criteria) マトリックスへの試み

○若菜 茂晴、古瀬 民生、山田 郁子、串田 知子、柏村 実生
(理化学研究所バイオリソースセンターマウス表現型解析開発チーム)

O-14 マウスモデルを用いた DOHaD 仮説の実証5：遺伝子欠損マウスを用いた母体低栄養モデルマウスの開発

○古瀬 民生¹、三宅 邦夫²、幸田 尚³、三浦 郁生¹、串田 知子¹、山田 郁子¹、柏村 実生¹、金田 秀貴¹、小林 喜美男¹、石野 史敏³、久保田 健夫²、若菜 茂晴¹
(¹理研BRC日本マウスクリニック、²山梨大学・医学工学総合研究部・環境遺伝医学講座、³東京医科歯科大学・難治疾患研究所・エピジェネティクス分野)

O-15 野生由来マウスヘテロジニアスストックの選択交配によりみられる従順性の解析

○永山 博通¹、松本 悠貴^{1,2}、後藤 達彦³、小出 剛^{1,2}
(¹総合研究大学院大学遺伝学専攻、²国立遺伝学研究所マウス開発研究室、³茨城大学農学部)

O-16 ツパイ周期性寒冷ストレスモデルの樹立とNRSFを標的とした化合物C737の評価

○池 海英¹、永野 希織¹、山口 千穂¹、えむいえち かいしゅ¹、かでいじゃ ればに¹、ぼしゅら きたぶ¹、中野 洋文²、小路 弘行²、小原 道法³、小原 恭子¹
(¹鹿児島大学共同獣医学部、²(株)PRISM BioLab、³東京都医学研)

5月18日(水)

第2会場

口頭発表 II

遺伝・育種・遺伝子機能・バイオリソース I

14:00 ~ 14:50

座長 高林秀次(浜松医科大学)

O-17 マウス卵巣における PRMT5 の機能解析

○鈴木 仁美¹、仲 拓馬²、鈴木 敦²、ライコヴィッチ アレクサンダー³、金井 正美¹

(¹東京医科歯科大学医歯学総合研究科疾患モデル動物解析学分野、²横浜国立大学工学研究院分子生命学研究室、³ピッツバーグ大学産婦人科および生殖科学部門)

O-18 マウス4番染色体上に存在する腫瘍悪性化を制御する原因遺伝子の探索

○齋藤 慈、奥村 和弘、吉澤 康博、磯貝 恵理子、若林 雄一
(千葉県がんセンター研究所実験動物)

O-19 実験用マウスの生殖系列の突然変異率とその後世代への影響

○内村 有邦¹、樋口 真弓¹、水口 洋平²、豊田 敦²、藤山 秋佐夫²、若菜 茂晴³、西野 穰⁴、八木 健¹
(¹大阪大学生命機能研究科、²国立遺伝学研究所生命情報研究センター、³(独)理化学研究所バイオリソースセンター、⁴名古屋大学医学系研究科)

O-20 両腎形成不全を伴うLrp4欠失マウスは羊水の排出に異常を来し羊水過多を起こす

○棚橋 浩¹、田 慶宝¹、遠藤 昌吾²、鈴木 龍雄¹
(¹信州大学医学系研究科神経可塑性学教室、²東京都健康長寿医療センター研究所)

O-21 Sox17ヘテロ雌マウスは着床受容能の低下のために低妊性となる

○平手 良和¹、鈴木 仁美¹、川澄 みゆり¹、高瀬 比菜子¹、五十嵐 瞳²、金井 克晃²、金井 正美¹
(¹東京医科歯科大学実験動物センター疾患モデル動物解析学分野、²東京大学大学院農学生命科学研究科獣医解剖学教室)

5月18日(水)
第2会場

口頭発表Ⅱ

遺伝・育種・遺伝子機能・バイオリソースⅡ

14:50 ~ 15:30 座長 目加田和之(岡山理科大学)

O-22 *Ush1g*ヘテロマウスの聴覚障害は*Cdh23*の1塩基置換により回復する

○宮坂 勇輝^{1,2}、設楽 浩志¹、鈴木 沙理¹、関 優太¹、多屋 長治¹、高田 豊行³、城石 俊彦³、木南 凌²、米川 博通¹、吉川 欣亮^{1,2}
(¹東京都医学総合研究所、²新潟大学大学院、³国立遺伝学研究所)

O-23 精子カルシニューリンは尾部中片部の屈曲能とオスの生殖能に必須である

○宮田 治彦¹、佐藤 裕公¹、増子 大輔^{1,2}、武藤 真長^{1,3}、野澤 香織^{1,2}、柴 小菊⁴、藤原 祥高¹、磯谷 綾子⁵、稲葉 一男⁴、伊川 正人^{1,2,3,5}
(¹大阪大学微生物病研究所、²大阪大学大学院医学系研究科、³大阪大学大学院薬学研究科、⁴筑波大学下田臨海実験センター、⁵大阪大学免疫学フロンティア研究センター)

O-24 精子形成におけるY染色体上遺伝子Ddx3yの機能解析

○松村 貴史^{1,2}、小川 昌起^{1,2}、磯谷 綾子^{1,3}、伊川 正人^{1,2,3}
(¹大阪大学微生物病研究所、²大阪大学大学院薬学研究科、³大阪大学免疫学フロンティア研究センター)

O-25 雄妊孕性に関わる細胞外マトリックス因子の探索

○淨住 大慈、山口 亮、飛田 知央、岡部 勝、伊川 正人
(大阪大学微生物病研究所遺伝子機能解析分野)

5月18日(水)
第3会場

口頭発表Ⅲ

管理・施設・倫理・福祉

9:30 ~ 10:10 座長 今井良悦(武田薬品工業(株))

O-26 ソフト水熱プロセスによる乾燥工程を低減できる新しい滅菌器の開発(プロトタイプ)

○宮本 徹^{1,3}、古畑 貞彦²、笠井 憲雪¹、渡辺 伸洋³、林 志成³
(¹東北大学大学院医学系研究科附属動物実験施設、²信州大学医学部附属病院手術部、³株式会社前田製作所)

O-27 新たな環境モニタリングシステムを用いた動物飼育環境の検討

○小倉 智幸¹、何 裕遥¹、岡原 則夫¹、井上 貴史¹、伊藤 豊志雄¹、日置 恭司¹、齋藤 宗雄¹、高橋 利一¹、須藤 芳彦²、村木 淳也²、石原 正也³、染谷 博行³
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²千代田テクノス株式会社、³アズビル株式会社)

O-28 高度封じ込め施設の構築に関する研究(その2) バイオクリーン・バイオセーフティ実験施設の特徴と概要

○柳 博通、山本 隼人、高橋 幹雄、天野 健太郎、谷 英明、高橋 祐樹、日高 卓、東 あるみ、横山 大造、高志 学、沼中 秀一、福島 一夫
(株)竹中工務店)

O-29 個別換気ケージラック(IVC)を用いたモルモット飼育の紹介

○中村 知矢¹、小川 和男¹、塩谷 恭子²
(¹株式会社池田模範堂研究所、²国立循環器病研究センター動物実験管理室)

5月18日(水)
第3会場

口頭発表Ⅲ

遺伝・育種・遺伝子機能・バイオリソースⅡ

10:10 ~ 10:50 座長 森 政之(信州大学)

O-30 野生マウスから発掘した新規肥満抵抗性QTLの候補遺伝子

○石川 明
(名古屋大学大学院生命農学研究科応用遺伝・生理学講座)

O-31 野生ハツカネズミの下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ポリペプチド (PACAP) 遺伝子における正の自然選択

○田邊 彰^{1,2}、小出 剛^{1,2,3}

(¹国立遺伝学研究所マウス開発研究室、²新領域融合研究センター、³総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻)

O-32 マウス野生由来系統群「ミシマバッテリー」のゲノム解読と体質関連遺伝子探索への利用

○高田 豊行¹、福多 賢太郎²、野口 英樹²、豊田 敦²、山崎 由紀子³、藤山 秋佐夫²、城石 俊彦¹

(¹国立遺伝学研究所 哺乳動物遺伝研究室、²国立遺伝学研究所 比較ゲノム解析研究室、³国立遺伝学研究所 系統情報研究室)

O-33 食塩感受性高血圧は皮膚の水分量とNa⁺、Cl⁻含有量に関係するか? : SHRSP, SHR, WKYを用いた比較検討

○新谷 薫¹、松本 真悟²、ザヒッド ハッサン¹、並河 徹¹

(¹島根大学、²島根大学生物資源科学部)

5月18日(水)

第3会場

口頭発表Ⅲ

遺伝・育種・遺伝子機能・バイオリソースⅢ

10:50 ~ 11:30 座長 庫本高志(京都大学)

O-34 マウスの従順性行動に関わる遺伝子座とイヌの家畜化との関連

○松本 悠貴^{1,2,3}、西野 穰⁴、後藤 達彦⁵、小出 剛^{1,2}

(¹国立遺伝学研究所マウス開発研究室、²総合研究大学院大学生命科学研究科、³日本学術振興会、⁴名古屋大学大学院医学系研究科、⁵茨城大学農学部)

O-35 NAK/Nokh ラットの無眼球症に関与する複数の遺伝子座

○和田 健太^{1,2,4}、宗形 春花¹、内山 博允³、大久保 咲²、橋詰 良一²、吉川 欣亮⁴

(¹東京農大学生物産業学部、²東京農科大学大学院生物産業学研究科、³東京農大学生物資源ゲノム解析センター、⁴東京都医学総合研究所哺乳類遺伝プロジェクト)

O-36 イヌMHCクラスI (DLA-88および-12) およびクラスII遺伝子 (DLA-DRB1) の多型解析とDLAハプロタイプの推定

○宮前 二郎^{1,3}、片倉 文彦¹、難波 信一²、森友 忠昭¹、椎名 隆³

(¹日本大学生物資源科学部獣医学科、²マープル動物医療センター、³東海大学医学部基礎医学系分子生命科学)

O-37 実験動物の利用拡大に向けたデータベース構築

○榎屋 啓志¹、高月 照江¹、斎藤 実香子¹、高山 英紀¹、大島 和也¹、田中 信彦¹、戀津 魁²、小林 紀郎²

(¹理化学研究所 バイオリソースセンター、²理化学研究所 情報基盤センター)

5月18日(水)

第3会場

口頭発表Ⅳ

遺伝・育種・遺伝子機能・バイオリソースⅣ

11:30 ~ 12:20 座長 小出 剛(国立遺伝学研究所)

O-38 Tns2欠損マウスの腎臓病悪性化に関与する第2染色体上の遺伝子座のマッピング

○佐々木 隼人¹、木村 純平²、長崎 健一³、安居院 高志²、佐々木 宣哉¹

(¹北里大学獣医学部、²北海道大学獣医学部、³日本食品分析センター・千歳研究所)

O-39 SNP解析を用いた近交系マウスの遺伝モニタリング検査法の確立

○山本 真史、林元 展人、高橋 利一、末水 洋志
(公益財団法人実験動物中央研究所)

O-40 Zucker fatty ラットコロニーに由来するラット系統のゲノムプロファイル解析

○中西 聡¹、庫本 高志¹、横井 伯英²

(¹京都大院・医・動物実験施設、²神戸大院・医・分子代謝医学)

O-41 癌型Ras変異非小細胞肺癌モデルマウスを用いた発癌感受性QTLの探索

○齋藤 浩充、鈴木 昇

(三重大学生命科学支援センター機能ゲノミクス分野動物機能ゲノミクス部門)

O-42 マウスCpox遺伝子変異に起因する白内障の発症時期に影響する遺伝子が第16染色体上に存在する

○森 政之¹、樋口 京一²

(¹信州大学学術研究院バイオメディカル研究所先端疾患予防学部門、²信州大学学術研究院医学系研究科加齢生物学教室)

5月18日(水)

第3会場

口頭発表Ⅲ

海外口演 I

12:20 ~ 12:40 座長 吉木 淳(理化学研究所)

O-43 Over-expressed serum amyloid A1 induces Th17 cells polarization and Th1 cell inhibition

○Minjee Choi, Zae Young Ryoo
(Kyungpook National University)

O-44 Functional analysis of hMAGEA2 on the breast cancer cells

○Song Park, Zae Young Ryoo
(Kyungpook National University)

5月18日(水)

第3会場

口頭発表Ⅳ

解剖・組織・病理・病態 I

14:00 ~ 14:40 座長 門内 誠((株)中外医科学研究所)

O-45 側弯症様表現型を示す変異マウスのCT画像データを用いた成長期における脊柱弯曲のシミュレーション

○佐川 暢保¹、太田 聡史²、Fuchs Helmut³、Hrabe de Angelis Martin³、北林 みゆき¹、北林 照幸⁴、高松 信彦⁵、阿部 幸一郎¹
(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²独立行政法人理化学研究所バイオリソースセンター情報解析技術室、³ドイツマウスクリニック、⁴東海大学理学部物理学科、⁵北里大学理学部生物科学科分子生物学講座)

O-46 動的核偏極(DNP)-MRIを用いた筋肉のレッドクイメーキング法の開発と局所筋炎モデル動物への応用

○江藤 比奈子¹、兵藤 文紀¹、ヌタブット コセム¹、小林 竜馬¹、安川 圭司²、中尾 素直³、木庭 守¹、内海 英雄¹
(¹九州大学先端融合医療レッドクナビ研究拠点、²第一薬科大学薬学部育薬研究センター、³九州大学生体防御医学研究所)

O-47 造影CTを用いた新規軟組織表現型イメージング法の開発、およびその応用

○田村 勝
(国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンターマウス表現型解析開発)

O-48 マイクロCTを用いたJmjd3変異マウスの骨格形成の解析

○成瀬 智恵¹、田村 勝²、伊川 正人³、若菜 茂晴²、浅野 雅秀¹

(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²理研バイオリソースセンターマウス表現型解析開発チーム、³大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験センター遺伝子機能解析分野)

5月18日(水)

第3会場

口頭発表Ⅳ

解剖・組織・病理・病態Ⅱ

14:40 ~ 15:10 座長 久和 茂(東京大学)

O-49 麻疹ウイルスNタンパク質(MV-N)発現による筋萎縮の機序解析

○権 賢貞¹、渡辺 悠太¹、中西 友子¹、佐藤 宏樹¹、内田 翔太郎¹、越後貫 成美²、小倉 淳郎²、米田 美佐子¹、甲斐 知恵子¹

(¹東京大学医科学研究所実験動物研究施設、²理化学研究所 バイオリソースセンター)

O-50 筋ジストロフィーモデルマウスの背景データ解析(1)—NOG-*mdx*マウスにおける血液生化学データの比較解析—

○保田 昌彦¹、水澤 卓馬²、後藤 貴之³、米田 直央²、下村 千恵³、位高 美香¹、何 裕遥²、後藤 元人²、小倉 智幸²、高橋 利一²、川井 健司¹

(¹公益財団法人実験動物中央研究所病理解析センター、²公益財団法人実験動物中央研究所動物資源基盤技術センター、³日本クレア株式会社技術部)

O-51 筋ジストロフィーモデルマウスの背景データ解析(2)—NOG-*mdx*、B10-*mdx*における繁殖成績および体重推移—

○水澤 卓馬¹、小倉 智幸¹、後藤 元人¹、何 裕遥¹、米田 直央¹、阿部 隼人²、保田 昌彦¹、高橋 利一¹

(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²株式会社ジェー・エー・シー)

5月18日(水)

第3会場

口頭発表IV

解剖・組織・病理・病態III

15:10～15:50 座長 中村紳一郎(滋賀医科大学)

O-52 ランタン(La)投与モデルにおけるLaのためのアリザリン・コンプレクソン(ALC)組織化学的染色法の検討

○宮川 誠
(帝京大学板橋キャンパス中央実験動物施設)

O-53 動脈硬化病変の発生・進展に及ぼす冠動脈の走行の影響、WHHLMIウサギを用いた病理組織学的解析

永坂 亮輔¹、小池 智也²、田村 翔平¹、ユウ イン²、
○塩見 雅志^{1,2}
(¹神戸大学医学研究科 疾患モデル動物病態生理学分野、
²神戸大学医学研究科附属動物実験施設)

O-54 高プロラクチン血症を特徴とするイヌの関節リウマチ症

○木村 透
(山口大学共同獣医学部病態制御学講座(実験動物学))

O-55 心疾患カニクイザルの血液ガスに関する研究

○中山 駿矢^{1,2}、鯉江 洋¹、金山 喜一¹、片貝 裕子³、
山海 直²、揚山 直英²
(¹日本大學生物資源科学部獣医学科、²国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医学科学研究センター、
³社団法人予防衛生協会)

5月18日(水)

第3会場

口頭発表IV

繁殖・系統開発 I

15:50～16:20 座長 設楽浩志(東京都医学総合研究所)

O-56 活性酸素障害によるマウス精子運動機能低下と分子状水素の抑制効果

○野田 義博¹、中田 久美子^{2,3}、遠藤 玉夫¹、
山下 直樹²、大澤 郁朗³
(¹東京都健康長寿医療センター研究所実験動物施設、
²山下湘南夢クリニック高度生殖医療研究所、³東京都健康長寿医療センター研究所 生体環境応答)

O-57 低受精能凍結遺伝子改変マウス精子の体外受精における超過排卵誘起由来卵子の応用

○土山 修治¹、山下 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、
近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、
宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、坂本 亘¹、
中川 佳子¹、山本 由妃¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大學生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、
²九動株式会社)

O-58 マウス精子成熟における遺伝的背景の影響について

○渡邊 仁美、竹田 理恵、廣田 圭司、近藤 玄
(京都大学再生医科学研究所)

5月18日(水)

第3会場

口頭発表IV

繁殖・系統開発 II

16:20～16:50 座長 大野民生(名古屋大学)

O-59 NOGマウスにおける、ASF(Altered Schaedler Flora)とCIEA Flora定着マウスの基礎データ比較

○何 裕遙、小倉 智幸、野津 量子、植野 昌未、
米田 直央、日置 恭司、高橋 利一
(公益財団法人実験動物中央研究所)

O-60 C57BL/6Jおよび*Mus spretus*由来ミトコンドリアゲノムを有する異質性マウス系統の開発

○設楽 浩志^{1,2}、曹 麗琴³、山口 碧¹、米川 博通¹、
多屋 長治¹
(¹東京都医学総合研究所遺伝子改変動物室、²筑波大學生命環境系、
³筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構)

O-61 流産処置時期の違いがマイクロミニピッグにおける発情同期化に与える影響

○前田 昌美¹、後藤 希²、高島 諭²、高須 正規^{1,2}、
森 崇^{1,2}、松原 達也¹、ふりお あるむにあ¹、
今枝 紀明²、安藤 麻子³、北川 均^{1,2}
(¹岐阜大院連獣、²岐阜大応用生物科学部、³東海大学医学部)

5月18日(水)
第3会場

口頭発表IV

国際賞

16:50 ~ 17:30 座長 竹尾 透(熊本大学)

O-62 Precise genetic modification in rats using CRISPR/Cas9

○ Yuanwu Ma

(Key Laboratory of Human Disease Comparative Medicine, Ministry of Health, Institute of Laboratory Animal Science, Chinese Academy of Medical Sciences)

O-63 Differential modulation of IL-12 family cytokines in islet graft rejection

○ Heng-Yi Chen¹, Feng-Cheng Chou², Huey-Kang Sytwu^{1,2}

(¹Graduate Institute of Life Sciences, National Defense Medical Center, Taipei, ²Department and Graduate Institute of Microbiology and Immunology, National Defense Medical Center, Taipei)

O-64 Hepatic serum amyloid A-1 aggravates T cell mediated hepatitis by inducing chemokines via Toll-like receptor 2 in mice

○ Seonggon Kim^{1,2}, Zae Young Ryoo², Choong-Yong Kim¹

(¹Laboratory Animal Center, Daegu-Gyeongbuk Medical Innovation Foundation, Dong-gu, Daegu, Republic of Korea, ²School of Life Science, Kyungpook National University, Buk-gu, Daegu, Republic of Korea)

O-65 Abnormal behavior in individually-housed macaques of different age: a prevention program through environmental enrichment

○ Devi Kartika¹, Fitriya N. Dewi^{1,2}, Anastasia Narani¹, Permanawati^{1,2}, Diah Iskandriati^{1,2}, I Nengah Budiarsa¹

(¹PT Bimana Indomedical, Bogor, Indonesia, ²Primate Research Center, Bogor Agricultural University, Bogor, Indonesia)

5月18日(水)
第3会場

口頭発表IV

海外口演II

17:30 ~ 18:00 座長 杉山文博(筑波大学)

O-66 Serum amyloid a 1 overexpression induces depressive-like behavior in mice

○ Soyoung Jang, Zae Young Ryoo
(Kyungpook National University)

O-67 Cathepsin S exacerbates the progression of lupus-like disease

○ Jinhee Lee, Zae Young Ryoo
(Kyungpook National University)

O-68 Amyloid deposition following high-fat diet challenge in serum amyloid A1 (SAA1) transgenic mice

○ Jain Jeong, Zae Young Ryoo
(Kyungpook National University)

5月19日(木)
第2会場

口頭発表V

微生物・感染・免疫 I

9:15 ~ 9:45 座長 高橋武司(実験動物中央研究所)

O-69 胚移植で誕生した高度免疫不全マウスNOD/SCID/JAK3null mouseの特性と免疫機能

○ 坂口 摩姫^{1,2}, 三小田 伸之¹, 中村 智¹, 松田 幸樹², 刈谷 龍昇², 岡田 誠治²

(¹九動株式会社, ²熊本大学エイズ学研究センター)

O-70 麻疹ウイルスベクターを利用した高病原性鳥インフルエンザウイルスワクチンの霊長類感染モデルにおける効果

○ 藤幸 知子¹, 堀江 亮^{1,2}, 米田 美佐子¹, 倉石 武³, 安井 文彦⁴, 権 賢貞¹, 池田 房子¹, 宗片 圭祐⁴, 石井 美穂¹, 木曾 有里¹, 佐藤 宏樹¹, 服部 正策³, 喜田 宏⁵, 小原 道法⁴, 甲斐 知恵子^{1,2,3}

(¹東大医科研実験動物研究施設, ²東大医科研感染症国際研究センター, ³東大医科研奄美病害動物研究施設, ⁴東京都医学総合研究所, ⁵北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)

- O-71 ラット主要感染症モニタリング用イムノクロマト法の開発
 ○土佐 紀子¹、吉松 組子²、石田 智子³、林元 展人³、塩川 愛絵²、高倉 彰³、有川 二郎^{1,2}
 (1北海道大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²北海道大学大学院医学研究科病原微生物学分野、³実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター)

- O-76 糖鎖固定化磁性金ナノ粒子技術を用いたセンダイウイルス感染の検出
 ○田中 舞¹、山本 真史¹、内田 立樹²、山本 美保³、和仁 睦¹、石田 智子¹、隅田 泰生^{4,5}、林元 展人¹
 (1公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²株式会社ジェー・エー・シー、³WDB株式会社、⁴鹿児島大学大学院理工学研究科、⁵(株)ステックスバイオテック)

5月19日(木)
第2会場

口頭発表V

微生物・感染・免疫Ⅱ

9:45 ~ 10:15 座長 林元展人(実験動物中央研究所)

- O-72 免疫不全動物コロニーでの*Helicobacter species*の駆除と繁殖成績に対する影響
 ○大下 浩樹¹、植田 亮¹、浜村 理子¹、立野 知世^{1,2}
 (1株式会社フェニックスバイオ、²広島肝臓プロジェクト研究センター)
- O-73 'CARバチルス'の新学名*Filobacterium rodentium*について
 ○池 郁生¹、坂本 光央²、大熊 盛也²、梶田 亜矢子¹、松下 悟⁴、吉木 淳¹、小久保 年章³
 (1国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター実験動物開発室、²国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター微生物材料開発室、³国立研究開発法人放射線医学総合研究所研究基盤センター生物研究推進課、⁴国立研究開発法人放射線医学総合研究所人材育成センター教務室)
- O-74 ラットを用いたE型肝炎ウイルス感染モデルの確立
 ○國田 智¹、高橋 雅春²、岡本 宏明²
 (1自治医科大学実験医学センター、²自治医科大学感染・免疫学講座ウイルス学部門)

- O-77 実中研ICLASモニタリングセンターで実施した微生物モニタリング検査における剖検所見の解析
 ○和仁 睦¹、森田 華子¹、保田 昌彦²、田中 舞¹、内田 立樹³、石山 沙也香¹、山本 美保⁴、山本 真史¹、石田 智子¹、林元 展人¹
 (1公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²公益財団法人実験動物中央研究所病理解析センター、³株式会社ジェー・エー・シー、⁴WDB株式会社)

- O-78 マウス糞便細菌叢の凍結保存条件の検討
 ○野津 量子¹、植野 昌未¹、江藤 智生²、小倉 智幸³、林元 展人¹
 (1(公財)実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²(公財)実験動物中央研究所生殖工学研究室、³(公財)実験動物中央研究所動物資源基盤技術センター)

- O-79 東京、神奈川で捕獲された野鼠(クマネズミ、ドブネズミ)の微生物汚染調査
 ○石山 沙也香¹、森田 華子¹、内田 立樹²、佐々木 健³、宮下 礼行³、元木 貢³、林元 展人¹
 (1公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター、²株式会社JAC、³アベックス産業株式会社)

5月19日(木)
第2会場

口頭発表V

霊長類(実験手技・生化学等)

11:05 ~ 11:45 座長 山海 直(医薬基盤・健康・栄養研究所)

- 5月19日(木)
第2会場
- 口頭発表V
- 微生物・感染・免疫Ⅲ
- 10:15 ~ 11:05 座長 後藤一雄(帝京大学)
- O-75 マウス・ラットの病原微生物におけるMALDI-TOF MSを用いた細菌同定の評価
 ○森田 華子、石山 沙也香、林元 展人
 (公益財団法人実験動物中央研究所ICLASモニタリングセンター)

- O-80 カニクイザルの肥満度判定におけるイヌ用体脂肪計の応用
 ○保倉 智恵、北條 隆男、野牧 博通、門内 誠
 ((株)中外医科学研究所)
- O-81 カニクイザルから非侵襲的に採取した唾液中のストレスマーカーの評価
 ○白崎 康文¹、吉岡 直矢²、前川 剛²、小島 侃太²、大久保 卓也²、林 俊昭²
 (1第一三共RDノバーレ(株)生物評価研究部、²ハムリー(株))

O-82 ウェイティングマーマーモセットシンドロームの生化学マーカーとしての血清MMP9

○吉本 拓郎、高橋 英機、新美 君枝
(国立研究開発法人理化学研究所脳科学総合研究センター研究基盤センター動物資源開発支援ユニット)

O-83 コモンマーマーモセットにおける性ホルモン抑制剤を用いた性周期管理

○黒滝 陽子¹、伊藤 達也^{1,4}、山田 祐子¹、李 佳穎¹、石淵 智子¹、富樫 充良¹、山崎 未来²、澤田 賀久²、岡原 純子¹、佐々木 えりか^{1,3}
(¹公益財団法人 実験動物中央研究所、²株式会社ジェー・エー・シー、³慶應義塾大学、⁴東京バイオテクノロジー専門学校)

5月19日(木)
第2会場

口頭発表V

海外口演Ⅲ

11:45 ~ 12:15 座長 高橋英機(理化学研究所)

O-84 Prediction of obesity-genes in weight cycling mouse model

Dong Soo Kyung, Soo Young Cho, ○Je Kyung Seong
(Seoul National University and Korea Mouse Phenotyping Center)

O-85 Assessment of atherosclerosis and therapeutic potential of anti-atherogenic drug candidates

Dahee Shim¹, Jun Seong Lee², Cheolho Cheong², ○Jae-Hoon Choi¹
(¹Department of Life Science, College of Natural Sciences, Research Institute for Natural Sciences, Hanyang University、²Laboratory of Cellular Physiology and Immunology, Institut de Recherches Cliniques de Montreal, Quebec, Canada)

O-86 Tet1 overexpression leads to anxiety-like behavior and enhanced fear memories in mice

○Wookbong Kwon, Zae Young Ryoo
(Kyungpook National University)

5月20日(金)

第2会場

口頭発表VI

発生工学(再生医療を含む) I

9:15 ~ 9:55

座長 小倉淳郎(理化学研究所)

O-87 超過剰排卵誘起法におけるC57BL/6Jマウスの日齢が排卵数および受精率に及ぼす影響

○近藤 朋子^{1,2}、山下 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、坂本 亘¹、中川 佳子¹、山本 由妃¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹

(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

O-88 超過剰排卵誘起法を利用した遺伝子改変マウスの効率的な作製

○山下 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、中川 佳子¹、坂本 亘¹、山本 由妃¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹

(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

O-89 各種マウス系統における超過剰排卵誘起法の有用性

○梅野 智子¹、山下 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、坂本 亘¹、中川 佳子¹、山本 由妃¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹

(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

O-90 超過剰排卵誘起法におけるC57BL/6Jマウスの週齢が排卵数および受精率に及ぼす影響

○中牟田 裕子^{1,2}、山下 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、坂本 亘¹、中川 佳子¹、山本 由妃¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹

(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

5月20日(金)
第2会場

口頭発表VI

発生工学(再生医療を含む) II

9:55 ~ 10:35

座長 伊川正人(大阪大学)

- O-91 マウス・ラットにおける長鎖一本鎖オリゴを用いた高効率なノックイン
○吉見 一人¹、今井 悠二¹、田邊 彰¹、真下 知士²、小出 剛¹
(¹国立遺伝学研究所マウス開発研究室、²大阪大学大学院医学系研究科附属動物実験施設)
- O-92 テトラプロイド補完法による *Mus caroli* キメラマウスの作製
○長尾 恭光¹、戸塚 義和²、堀居 拓郎³、守谷 尚倫¹、小葉 清美¹、門田 雅世⁴、吉木 淳⁴、山本 卓⁵、目加田 和之⁶、畑田 出穂³、徳永 智也⁷、花園 豊⁸、國田 智¹、今井 裕⁹、遠藤 仁司¹⁰
(¹自治医科大学実験医学センター、²株式会社特殊免疫研究所、³群馬大学生体情報ゲノムリソースセンター、⁴国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター、⁵広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻、⁶岡山理科大学理学部動物学科、⁷独立行政法人農業生物資源研究所、⁸自治医科大学分子病態治療研究センター再生医学研究部、⁹京都大学大学院農学研究科応用生物科学、¹⁰自治医科大学機能生化学講座)
- O-93 ポリシストロニックベクターを用いた6因子導入による、*Prairie vole* のiPS細胞の樹立
○片山 雅史¹、平山 貴士^{1,2}、堀江 謙吾¹、土内 憲一郎¹、西森 克彦¹、福田 智一¹
(¹東北大学大学院農学研究科、²順天堂大学産婦人科)
- O-94 熊本大学CARDが海外研究機関で開催したマウス生殖工学技術研修会
○宮川 あい^{1,2}、山下 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

5月20日(金)
第2会場

口頭発表VI

発生工学(再生医療を含む) III

10:35 ~ 11:15

座長 平林真澄(生理学研究所)

- O-95 マウス冷蔵精子における生体膜中コレステロール量の変化が受精能に及ぼす影響
○吉本 英高、武氏 志保里、廣瀬 優美子、竹尾 透、中潟 直己
(熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野)
- O-96 精巢の異種異所移植の新しい試み
○越後貫 成美¹、小倉 淳郎¹、山海 直²
(¹理研BRC、²医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター)
- O-97 ラット前核期胚の凍結保存および移植後の産子への発生について
○竹鶴 裕亮、金子 武人
(京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)
- O-98 ラットES細胞を用いた遺伝子改変動物作製の効率化: 受容胚系統の比較
○中務 胞、夏目 理恵、埜村 建司
(新潟大学脳研究所細胞神経生物学分野)

5月20日(金)
第2会場

口頭発表VI

発生工学(再生医療を含む) IV

11:15 ~ 11:55

座長 佐々木えりか(実験動物中央研究所)

- O-99 採卵、顕微注入、胚移植を要しないゲノム編集マウス作製法GONADによるノックアウトマウス作製
○大塚 正人¹、高橋 剛²、和田 健太²、三浦 浩美¹、Channabasavaiah Gurumurthy³、佐藤 正宏⁴
(¹東海大学医学部、²東京農業大学大学院生物産業学研究科、³ネブラスカ大学医療センター、⁴鹿児島大学医用ミニブタセンター)

O-100 CRISPR-Cas システムによる遺伝子破壊マウスの作製—超過剰排卵誘起法を用いた凍結受精卵の利用—

○中川 佳子¹、佐久間 哲史²、坂本 拓弥²、山本 卓²、若松 和子¹、山下 紀代子^{1,3}、春口 幸恵^{1,3}、近藤 朋子^{1,3}、竹下 由美^{1,3}、中牟田 裕子^{1,3}、梅野 智子^{1,3}、宮川 あい^{1,3}、土山 修治¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹

(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD) 資源開発分野、²広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻分子遺伝学研究室、³九動株式会社)

O-101 性周期同期化と抗インヒピン血清による成熟マウスの効率的な過排卵誘起法

○長谷川 歩未¹、持田 慶司¹、野田 義博²、遠藤 玉夫²、渡辺 元³、小倉 淳郎¹

(¹理研BRC、²東京都健康長寿医療センター、³東京農工大学)

O-102 CRISPR/Cas システムを用いたIRS1欠損マウスの作製

○石川 直樹、笹子 敬洋、窪田 直人、門脇 孝
(東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科)

5月20日(金)

第2会場

口頭発表VI

海外口演IV

11:55 ~ 12:15

座長 吉木 淳(理化学研究所)

O-103 The over-expression of Jazf1 regulates prostate cancer progression and metastasis

○Yong Hun Sung, Zae Young Ryoo
(Kyungpook National University)

O-104 Ninj1 suppresses metastatic property of lung cancer cells through inhibition of IL-6 pathway

Yeong-Su Jang¹, Ju-Hee Kang^{1,2}, Jong Kyu Woo¹, Hwan Mook Kim¹, Jong-Ik Hwang³, Kyu-Won Kim⁴, Sang-Jin Lee², Ho-Young Lee⁴, ○Seung Hyun Oh¹

(¹Gachon Institute of Pharmaceutical Sciences, Gachon University, ²National Cancer Center, ³Graduate School of Medicine, Korea University, ⁴College of Pharmacy and Research Institute of Pharmaceutical Sciences, Seoul National University)

ポスター発表

5月18日(水)

9:30 ~ 18:00

管理・施設・倫理・福祉

- P-1 飼育室とビニールアイソレータの隙間面積の測定
○齊藤 宗雄¹、今井 都泰^{1,2}
(¹(株)ジック、²公益財団法人実験動物中央研究所)
- P-2 ビニールアイソレータの圧力変化による漏れ試験法の試み
○今井 都泰、齊藤 宗雄
(株)ジック)
- P-3 熊本大学CARDの有償マウスバンクシステム
○岩本 まり¹、山下 紀代子^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、
春口 幸恵^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、
梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、高橋 郁¹、坂本 亘¹、
中川 佳子¹、山本 由妃¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、
中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源
開発分野、²九動株式会社)
- P-4 熊本大学CARDの公開マウスバンクシステム
○高橋 郁¹、岩本 まり¹、山下 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、
近藤 朋子^{1,2}、竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、
梅野 智子^{1,2}、宮川 あい^{1,2}、土山 修治¹、坂本 亘¹、
中川 佳子¹、山本 由妃¹、竹尾 透¹、中潟 直己¹
(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源
開発分野、²九動株式会社)
- P-5 スマートラボアプリケーション；飼育施設監視シ
ステムの開発 ～逃走検知システム～
○田嶋 美仁、佐久間 健治、田中 吉春、福井 利明、
谷田部 和久
(オリエンタル技研工業株式会社)
- P-6 島根大学動物実験施設の空調システムにつて
○山田 高也¹、川上 浩平¹、桐原 由美子¹、
梶谷 尚世¹、北野 昌樹²、山崎 真一³
(¹島根大学研究機構総合科学研究支援センター実験動
物部門、²日本クリア、³日東エアテック)
- P-7 ディスポーザブルケージ型個別飼育システムを用い
た長期施設運用における清浄度の検証
大友 弘法^{1,2}、佐久間 健治²、乙訓 桂子¹、林 進²、
松岡 英明¹、○齊藤 美佳子¹
(¹東京農工大学大学院生命工学専攻、²オリエンタル技
研工業(株))
- P-8 実験動物マウス飼育中の環境ストレス指標としての
糞便pHの検討
○大友 弘法¹、佐久間 健治²、乙訓 桂子¹、林 進²、
松岡 英明¹、齊藤 美佳子¹
(¹東京農工大学大学院工学府生命工学専攻、²オリエン
タル技研工業株式会社)
- P-9 二酸化塩素ガスによる消毒効果の検討ー2
○関口 富士男¹、松浦 歩¹、植艸 雅士¹、中河 圭介¹、
林 俊昭¹、河西 章¹、社領 聡²、白崎 康文²
(¹ハムリー(株)、²第一三共RDノバーレ(株)生物評価
研究部)
- P-10 高度封じ込め施設の構築に関する研究(その1)
実験動物施設における気密性能
○谷 英明、高橋 幹雄、天野 健太郎、高橋 祐樹、日高
卓、山本 隼人、横山 大造、柳 博通、沼中 秀一
(株)竹中工務店)
- P-11 コモンマームセットにおける疾患モデル作出後の栄
養管理
○西中 栄子、西銘 千代子、井上 貴史、岡原 則夫、
井上 亮、石淵 智子、安東 潔、堤 秀樹
(公財)実験動物中央研究所)
- P-12 発生工学研究に使用しているコモンマームセットの
健康管理ー血液検査所見からー
○山崎 未来^{1,2}、井上 貴史¹、富樫 充良¹、石淵 智子¹、
澤田 賀久^{1,2}、伊藤 豊志雄¹、佐々木 えりか^{1,3}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²株式会社ジェー
エー・シー、³慶応義塾大学)
- P-13 ライブ手術を併用し動物数の削減に配慮した心臓外
科手術トレーニングプログラム構築の試み
○大内 克洋¹、水野 友裕^{1,2}、大井 啓司²、八島 正文²、
八丸 剛²、長岡 英気²、藤原 立樹²、黒木 秀仁²、
田崎 大²、竹下 齊史²、木下 亮二²、遠藤 衆³、
金井 正美³、木村 太郎¹、荒井 裕国²
(¹東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科先端的外
科治療技術研究開発研究部門、²東京医科歯科大学大学
院心臓血管外科、³東京医科歯科大学実験動物センター)
- P-14 Pasteurella pneumotropica 16S rRNA 塩基配列が異
なる株を検出
○水野 堀川 洋子、安藤 理恵子、谷川 亜里紗、
平岩 吾朗、小谷 祐子、金子 司郎、田島 優
(大阪大学医学部附属動物実験施設)

微生物・感染・免疫

P-15 実験動物におけるマウス脳脊髄炎ウイルス(TMEV)抗体調査

○石田 智子¹、田中 舞¹、渡邊 成美²、許 祐銘³、林元 展人¹

(¹(公財)実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター、²(株)リクルートスタッフィング、³国立台湾大学大学院 実験動物センター)

P-16 NOGマウスにおける altered Schaedler flora⁸菌株の定着および消化管内分布特性

○植野 昌未、何 裕遥、野津 量子、米田 直央、林元 展人

(公益財団法人実験動物中央研究所)

P-17 EZ-Spot[®]: 乾燥血液によるマウスおよびラットの抗体試験

○久保村 華子、草野 かおり、横山 翠、西田 浩、宮田 和由、丸山 滋

(日本チャールス・リバー株式会社)

P-18 細菌汚染精子に対するラクトフェリンの効果

○竹内 崇師、小泉 舜史郎

(鳥取大学農学部共同獣医学科)

P-19 Rapid and competitive detection of *Pseudomonas aeruginosa* using Acetamide broth in animal facility

○Soon-Deok Lee¹, Eunseok Auh¹, Hyoung-Jin Kim¹, Jun-Won Yun¹, Yeong-Cheol Kang^{1,2}

(¹Seoul National University Hospital, ²Seoul National University College of Medicine)

P-20 顕微鏡とPCRによるマウス蟻虫の検査方法の比較検討

○梶田 亜矢子、小川 ちいみ、坂田 ひろみ、平野 直樹、安井 明美、平岩 典子、吉木 淳、池 郁生
(理化学研究所バイオリソースセンター実験動物開発室)

P-21 福島県の野生ニホンザルにおけるE型肝炎ウイルス(HEV)感染調査

○山本 博¹、石井 奈穂美²、名切 幸枝²、渡辺 千夏²、阿部 江里²、石橋 美波²、鈴木 諒平²、羽山 伸一²、佐藤 浩³、白木 公康¹、李 天成⁴

(¹富山大学医学部ウイルス学、²日本獣医生命科学大学獣医学部、³自然科学研究機構生理学研究所、⁴国立感染症研究所ウイルス第二部)

疾患モデル

P-22 新たな神経・筋疾患モデルとしてのヨーロッパモリネズミの可能性

○加藤 悟郎¹、保田 昌宏²、篠原 明男¹、越本 知大¹

(¹宮崎大学フロンティア科学実験総合センター生物資源分野、²宮崎大学農学部獣医学科)

P-23 An advanced model of cholestatic liver injury in mice

○Jeyoung Ryu, Nayeong Gu, Jinguen Rhee, Saet-Byul Hong, Jehoon Yang, Sung Joo Kim

(Laboratory Animal Research Center, Samsung Biomedical Research Institute)

P-24 セクレターゼ併用投与による行動学的障害及び脳アミロイド症の病態改善の相乗効果

○小山 直基、森 隆

(埼玉医科大学総合医療センター研究部)

P-25 高炭水化物食により糖尿病を発症するマウスB6-Ay+/+,Wv+/+系統

○大野 民生¹、前川 智樹¹、小林 美里²、須部 剛³、堀尾 文彦²

(¹名大院・医・実験動物、²名大院・生命農・動物栄養、³日本エスエルシー)

P-26 演題取り下げ

P-27 Alloxan誘発糖尿病マウスにおける齧蝕進行について

○梅野 貴博、尾崎 清和、丸山 早斗、寺山 由依、吉田 汐里、松浦 哲郎

(摂南大学薬学部病理学研究室)

P-28 2型糖尿病モデルdb/dbマウスにおける齧蝕発症—唾液腺機能障害と形態変化の関連性について—

○松浦 哲郎、吉川 美穂、寺山 由依、尾崎 清和

(摂南大学薬学部病理学研究室)

P-29 エーラス・ダンロス症候群原因遺伝子・テネイシンXの機能解析

○梶谷 尚世^{1,2}、山田 高也¹、川上 浩平¹、松本 健一²

(¹島根大学総合科学研究支援センター実験動物部門、²島根大学総合科学研究支援センター生体情報RI実験部門)

P-30 筋ジストロフィーモデルマウスの背景データ解析(3)—B10-mdx、B10における臓器重量の比較解析—

○米田 直央¹、保田 昌彦¹、水澤 卓馬¹、何 裕遥¹、位高 美香¹、下村 千恵²、後藤 元人¹、後藤 貴之²、小倉 智幸¹、川井 健司¹、高橋 利一¹

(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²日本クレア株式会社)

P-31 HepaRP3細胞を用いたヒト化肝臓マウスの作製

○樋口 裕一郎¹、川井 健司¹、山崎 浩史²、フランソワ プレ³、クリスティーン ググアン-グルーズ⁴、末水 洋史¹

(¹実験動物中央研究所、²昭和薬科大学、³ゼノプリス、⁴バイオペレディック)

P-32 Suppressive effect of *Asparagus cochinchinensis* on skin inflammation

○Ji Eun Sung, Ji Eun Kim, Jun Go, Hyun Ah Lee, Woo Bin Yun, Eun Ji Seo, Dae Youn Hwang

(Pusan National University)

P-33 Role of Asparagus cochinchinensis as a stimulator of NGF on the brain of Tg2576 mice

○Hyun Ah Lee, Ji Eun Kim, Ji Eun Sung, Woo Bin Yun, Eun Ji Seo, Dae Youn Hwang
(Pusan National University)

P-34 ショウジョウバエを用いたOLETFラット2型糖尿病原因遺伝子スクリーニング

林 朋音¹、山田 宜永²、○小瀬 博之¹
(¹国際基督教大学教養学部、²新潟大学農学部)

P-35 LC/MS/MSによる白血球中のシスチン定量法

○清水 有紀子¹、大熊 喜彰^{2,3}、岡村 匡史^{1,4}
(¹国立国際医療研究センター研究所動物実験施設、²順天堂大学大学院医学研究科、³国立国際医療研究センター病院小児科、⁴国立国際医療研究センター研究所ヒト型動物開発研究室)

P-36 新型脳梗塞モデルとなりうるか？；高食塩食負荷高血圧自然発症ラット (SHR) での検討

○川上 浩平¹、松尾 裕之²、新谷 薫²、山田 和夫³、山田 高也¹、並河 徹²
(¹島根大学総合科学研究支援センター実験動物部門、²島根大学医学部病態病理学、³島根大学医学部法医学)

P-37 多発性嚢胞腎症モデル動物の腎臓におけるレチノイドX受容体の解析

○釘田 雅則¹、吉原 大輔¹、加藤 由布²、小木曾 昇³、下村 恭代²、西田 修²、長尾 静子¹
(¹藤田保健衛生大学疾患モデル教育研究センター、²藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学、³国立長寿医療研究センター実験動物管理室)

P-38 Laxative effects of Galla Rhois in loperamide-induced constipation of SD rats

○Ji Eun Kim, Jiun Go, Ji Eun Sung, Hyun A Lee, Eun Ji Seo, Woo Bin Yun, Dae Youn Hwang
(Pusan National University)

P-39 ゲノム編集ブタにおけるヘテロ変異fibrillin-1遺伝子の後代への伝達と発現

○梅山 一大¹、渡辺 航太²、渡邊 将人¹、堀内 圭輔²、中野 和明¹、北城 雅照²、松成 ひとみ¹、長屋 昌樹¹、松本 守雄²、長嶋 比呂志¹
(¹明治大学バイオリソース研究国際インスティテュート、²慶應義塾大学医学部整形外科)

P-40 LTI特異的なIL-2Rg鎖発現によるNOGマウスでのリンパ節復元

○高橋 武司¹、杉山 文博²、水野 聖哉²、阿部 隼人¹、伊藤 守¹
(¹実験動物中央研究所、²筑波大学生命科学動物資源センター)

P-41 中国雲南省昆明の英茂の施設における2型糖尿病カニクイザルを用いた試験報告

○関 あずさ、本田 晴哉、鈴木 信夫
(ハムリー(株)国際事業部)

バイオリソース

P-42 理研BRC日本マウスクリニック：コミュニティーへの貢献とIMPCの進捗

○小林 喜美男、鈴木 智広、金田 秀貴、田村 勝、三浦 郁生、古瀬 民生、山田 郁子、綾部 信哉、吉木 淳、田中 信彦、榎屋 啓志、小幡 裕一、若菜 茂晴
(理研バイオリソースセンター)

P-43 実験動物の利用拡大に向けたデータベース構築

○高月 照江¹、斎藤 実香子¹、高田 豊行²、庫本 高志³、成瀬 清⁴、若菜 茂晴¹、田中 信彦¹、榎屋 啓志¹
(¹理化学研究所バイオリソースセンター、²国立遺伝学研究所 系統生物研究センター 哺乳動物遺伝研究室、³京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、⁴基礎生物学研究所 進化多様性生物学領域 バイオリソース研究室)

P-44 マウスキーバンクによるマウスの学内共有および共同研究推進の試み

○高橋 仁美、鈴木 仁美、金井 正美
(東京医科歯科大学実験動物センター)

P-45 日本マウスクリニックにおけるマウス血算検査について

○尾崎 真央、岡 英治、大島 正、柳沢 僚子、加賀美 智子、若菜 茂晴
(理研バイオリソースセンター)

P-46 研究コミュニティによる理研BRCのマウスリソースの利用状況

○吉木 淳、池 郁生、平岩 典子、中田 初美、綾部 信哉、仲柴 俊昭、持田 慶司、小倉 淳郎、小幡 裕一
(理研バイオリソースセンター)

P-47 医薬基盤・健康・栄養研究所「実験動物研究資源バンク」-創薬支援への貢献-

○小浦 美奈子、河相 晶子、田邊 瑠里子、佐々木 光穂、野口 洋子、松田 潤一郎、鈴木 治
(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

P-48 世界最高水準のラットリソース拠点：ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」

金子 武人、竹鶴 裕亮、Birger Voigt、○田中 美有、根小田 祐基、萩原 和美、崔 宗虎、服部 晃佑、山崎 真世、中西 聡、山崎 賢一、庫本 高志
(ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

実験手技・代替・麻酔・鎮痛

- P-49 スンクスにおける安楽死法の違いによる血液性状への影響
○後藤 元人、高橋 利一
(公益財団法人実験動物中央研究所)
- P-50 アルファキサロン、メドトミジン、ブトルファノール三種混合麻酔薬のマウスへの応用
○山田 陸、樋口 翔太、橋本 麻美、三好 健二郎、山下 和人、大杉 剛生
(酪農学園大学獣医学群)
- P-51 二次性胆汁性肝硬変ラットにおける麻酔方法の相違による血液パラメーターに与える影響
○寺田 節¹、今 弘枝¹、秋元 敏雄²、篠田 元扶¹
(¹獨協医科大学実験動物センター、²日本医科大学実験動物管理室)
- P-52 新生仔ラットにおける各種麻酔法の作用特性
○塚本 篤士、小西 優以、猪股 智夫
(麻布大学獣医学部実験動物学研究室)
- P-53 Comparison of in vitro alternative assays and in vivo test for eye irritation of contact lenses
○Jung-Hee Yoon¹, Jun-Won Yun¹, Quan Hailian², Eun-Young Cho¹, Miri Lee³, Seung-Hyeok Seok², Kyung-Min Lim³
(¹Seoul National University Hospital, ²Seoul National University College of Medicine, ³Ewha Womans University)

5月19日(木)

9:30 ~ 18:00

実験手技・代替・麻酔・鎮痛

- P-54 マーモセットMRI撮像時の導入麻酔としてのケタミンとアルファキサロンの比較検討
○山田 知歩子^{1,2}、井上 貴史¹、石淵 智子¹、岡原 則夫¹、関 布美子¹、小牧 裕司¹
(¹(公財)実験動物中央研究所、²(株)ジェー・エー・シー)
- P-55 薬物の毒性評価試験における体温テレメトリーの有用性について
○小澤 和典¹、加藤 弘毅²、牛田 和夫¹、樋口 はづき¹、山本 裕子¹、片平 清昭¹
(¹福島県立医科大学医療-産業TRセンター、²防衛医科大学校)

- P-56 Differential diagnosis of tumor origin in tumorigenicity test with in situ hybridization
○Jaе-Bum Ahn^{1,2}, Euna Kwon², Hanna Kim², Jun-Won Yun², Woo Ho Kim³, Byeong-Cheol Kang^{1,2,4}
(¹Seoul National University(SNU) College of Medicine, ²Seoul National University Hospital, ³Seoul National University College of Medicine, ⁴Seoul National University)
- P-57 筋肉組織由来体細胞核を用いた室温保存方法の検討
○小橋 朱里^{1,2,3,4}、梶本 みずき¹、東 里香²、久保 盛恵³、野々上 範之³、折杉 卓哉¹、杉本 瑞紀¹、細井 美彦^{1,2,4}、安齋 政幸⁴
(¹近畿大学生物理工学部遺伝子工学科、²近畿大学大学院、³広島市安佐動物公園、⁴近畿大学先端技術総合研究所)
- P-58 真空乾燥処理を施した各動物由来筋肉組織体細胞核の機能性の検証
○折杉 卓哉¹、梶本 みずき¹、東 里香²、高見 一利³、久保 盛恵⁴、野々上 範之⁴、井上 達也¹、小橋 朱里¹、杉本 瑞紀¹、宮下 実⁵、細井 美彦^{1,2,5}、安齋 政幸⁵
(¹近畿大学生物理工学部遺伝子工学科、²近畿大学大学院、³大阪市天王寺動物園事務所、⁴広島市安佐動物公園、⁵近畿大学先端技術総合研究所)
- P-59 ウサギ胚凍結におけるデバイスおよび凍結液の比較検討
○松久 葉一¹、秋吉 俊明¹、新見 学²、森本 正敏¹、範 江林²、北嶋 修司¹
(¹佐賀大学総合分析実験センター生物資源開発部門、²山梨大学大学院総合研究部医学域分子病理学講座)
- P-60 ハイロジネズミオポッサムにおけるインフルラン吸入麻酔の検討
○桐原 由美子¹、武智 真由美¹、黒崎 薫¹、池田 紀之¹、梶谷 尚世¹、小林 裕太²、齋藤 洋司³、大谷 浩⁴
(¹鳥根大学総合科学研究支援センター実験動物部門、²鳥根大学医学部基礎看護学講座、³鳥根大学医学部麻酔科学講座、⁴鳥根大学医学部解剖学講座発生生物学)
- P-61 自動血球分析装置を用いたマーモセット血液学的検査の評価
○平澤 由貴¹、井上 貴史²、岡原 則夫²、小田 康雅³、小田部 耕二¹、松尾 高博³、佐藤 伸一¹、本坊 敏保¹
(¹株式会社イナリサーチ、²公益財団法人実験動物中央研究所、³シスメックス株式会社)

加齢・老化

- P-62 老化メカニズムの解明に向けたマウス育成と加齢変化
○小木曾 昇¹、六車 香織¹、高野 聡美¹、富田 耕平^{1,2}、山口 一路^{1,2}、松井 直美³、丸山 光生³
(¹国立長寿医療研究センター研究所 実験動物管理室、²(株)ケー・エー・シー、³国立長寿医療研究センター研究所 老化機構研究部)

P-63 加齢・老化モデルラットにおける飼育環境が及ぼす影響について

○富田 耕平¹、山口 一路¹、高野 聡美²、六車 香織²、
小木曾 昇²

(¹株式会社ケー・エー・シー、²国立研究開発法人国立長寿医療研究センター実験動物管理室)

P-64 霊長類における心拍変動およびアドレナリン受容体の加齢性変化

オスマン ボラン¹、鯉江 洋²、岡林 佐知³、
金山 喜一²、保富 康宏¹、○揚山 直英¹

(¹医薬基盤・健康・栄養研究所、霊長類医学科学研究センター、²日本大学生物資源科学部、獣医学科、³予防衛生協会)

脳・神経、行動

P-65 MPC行動表現型解析におけるコントロールデータの解析

○山田 郁子、串田 知子、柏村 実生、鈴木 智広、
金田 秀貴、小林 喜美男、三浦 郁生、古瀬 民生、
若菜 茂晴

(理化学研究所バイオリソースセンターマウス表現型解析開発チーム)

P-66 ラクトシルセラミド合成に関わるガラクトース転移酵素群欠損マウスの脳の組織学的解析

○吉原 亨^{1,2}、八田 稔久³、佐武 寛之²、古川 鋼一^{4,5}、
浅野 雅秀^{1,2}

(¹京都大学医学研究科附属動物実験施設、²金沢大学学際科学実験センター、³金沢医科大学分子細胞形態科学、⁴名古屋大学医学系研究科、⁵中部大学生命健康科学部)

P-67 ラットの脳波、自発運動量、体温の同時測定

○岡嶋 匠¹、田口 勇次郎²、向當 さや香²、土山 道夫¹、
飯高 健¹

(¹日精バイリス株式会社、²キッセイコムテック株式会社)

繁殖・系統開発

P-68 C57BL/6Jclを遺伝的背景に持つIRS2欠損マウスの効率的な繁殖方法の検討

○橋本 晴夫¹、江藤 智生¹、上迫 努¹、山内 敏正²、
窪田 直人²、植木 浩二郎²、日置 恭司¹、斎藤 宗雄¹、
門脇 孝²、伊藤 守¹

(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²東京大学、医学部、糖尿病・代謝内科)

P-69 若週齢雌マウスを用いたNOGマウス背景置換の試み

○香川 貴洋¹、後藤 元人¹、小出 直史²、万代 道子²、
高橋 利一¹

(¹公益財団法人実験動物中央研究所動物資源基盤技術センター、²理化学研究所多細胞システム形成研究所センター網膜再生医療研究開発プロジェクト)

P-70 TK-NOGマウスの異なる生産方式における繁殖成績の比較

○富山 香代^{1,2}、関口 正樹^{1,3}、小倉 智幸¹、
高橋 利一¹、日置 恭司¹、末水 洋志¹

(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²株式会社ジェー・エー・シー、³アドバンテック株式会社)

P-71 C57BL/6系マウスにおけるBMY法を用いた新規繁殖方法の応用

○伊藤 恒賢、尾崎 順子、福田 直樹、須藤 まゆみ、
田中 大資

(山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所動物実験センター)

P-72 カニクイザル繁殖技術としての人工授精の検討

○下澤 律浩¹、大津 佳美²、東郷 陸²、冷岡 昭雄²、
岡林 佐知²、保富 康宏¹

(¹国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医学科学研究センター、²一般社団法人予防衛生協会)

発生工学(再生医療を含む)

P-73 超過剰排卵誘起法におけるインヒビン抗血清およびウマ絨毛性ゴナドトロピンの投与量の低減

○春口 幸恵^{1,2}、山下 紀代子^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、
竹下 由美^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、
宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、坂本 亘¹、
中川 佳子¹、山本 由妃¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、
中潟 直己¹

(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

P-74 インヒビン抗血清およびウマ絨毛性ゴナドトロピンの同時投与がC57BL/6Jマウスの排卵数を増加させる

○竹下 由美^{1,2}、山下 紀代子^{1,2}、春口 幸恵^{1,2}、
近藤 朋子^{1,2}、中牟田 裕子^{1,2}、梅野 智子^{1,2}、
宮川 あい^{1,2}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、坂本 亘¹、
中川 佳子¹、山本 由妃¹、土山 修治¹、竹尾 透¹、
中潟 直己¹

(¹熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野、²九動株式会社)

P-75 超過剰排卵誘起法を利用したマウス凍結卵子の効率的な作製法

○椋木 歩、竹尾 透、中潟 直己

(熊本大学生命資源研究・支援センター(CARD)資源開発分野)

P-76 インヒビン抗血清およびウマ絨毛性ゴナドトロピンを用いた過剰排卵誘起法

○竹尾 透、椋木 歩、中潟 直己

(熊本大学生命資源研究・支援センター 資源開発分野)

- P-77 抗インヒピン血清による過剰排卵と凍結精子用の体外受精法を用いた効率的な受精卵の獲得
○持田 慶司¹、長谷川 歩未¹、大高 直樹¹、市川 英里¹、田熊 究一¹、田中 めぐみ¹、山村 竜典¹、竹内 隆二¹、平岩 典子¹、吉木 淳¹、渡辺 元²、小倉 淳郎¹
(¹理研バイオリソースセンター、²東京農工大学)
- P-78 β-NMN添加体外成熟培地による卵子の体外成熟とその後の胚発生に与える影響
杉本 瑞紀¹、井上 達也¹、西村 愛美²、野田 義博³、東 里香⁴、小橋 朱里¹、折杉 卓哉¹、中家 雅隆⁴、中川 隆生⁵、細井 美彦^{1,4,6}、○安齋 政幸⁶
(¹近畿大学生物理工学部、²関西医科大学、³(地独)健康長寿医療センター実験動物施設、⁴近畿大学大学院、⁵(株)紀和実験動物研究所、⁶近畿大学先端技術総合研究所)
- P-79 マーモセット未受精卵の反復採卵における受精率への影響
○山田 祐子¹、黒滝 陽子¹、岡原 純子¹、李 佳穎¹、石淵 智子¹、富樫 充良¹、山崎 未来^{1,2}、澤田 賀久^{1,2}、佐々木 えりか^{1,3}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²株式会社ケー・エー・シー、³慶應義塾大学)
- P-80 コモンマーモセットの受精卵採卵における尿中プロゲステロン濃度による排卵日推定
○李 佳穎¹、田中 真佐恵¹、井上 貴史¹、岡原 純子¹、山田 祐子¹、黒滝 陽子¹、永澤 美保²、菊水 健史²、佐々木 えりか^{1,3}
(¹実験動物中央研究所、²麻布大学獣医学部動物応用科学科伴侶動物学研究室、³慶應義塾大学先端研究センター)
- P-81 雄性発生胚ならびに雌性発生胚からの半数体ラットES細胞株の樹立
○原 弘真¹、後藤 哲平¹、滝澤 明子²、Melinda Dwinell²、保地 眞一³、中内 啓光⁴、平林 真澄¹
(¹生理学研究所行動・代謝分子解析センター、²ウイスコンシン医科大学、³信州大学繊維学部、⁴東京大学医学研究所)
- P-82 筋肉組織由来体細胞核を用いた体細胞核移植操作がDNA修復に与える影響
○東 里香¹、梶本 みずき²、小橋 朱里²、折杉 卓哉²、杉本 瑞紀²、細井 美彦^{1,2,3}、安齋 政幸³
(¹近畿大学大学院生物理工学研究科、²近畿大学生物理工学部、³近畿大学先端技術総合研究所)
- P-83 CRISPR/Cas9システムを用いたマウスES細胞における多重遺伝子変異の導入とその解析
○清成 寛^{1,2}、阿部 高也²、山下 結衣^{1,2}、椋本 淑子²、傳田 京美²、金子 麻里^{1,2}、古田 泰秀^{1,2}
(¹理化学研究所CLST生体モデル開発ユニット、²理化学研究所CLST生外ゲノム工学研究チーム)
- P-84 CRISPR/Cas9システムを用いたゲノム編集によるマウスへの変異導入効率
○田中 雅人¹、西尾 美希^{1,2}、後藤 裕樹^{1,2}、鈴木 聡^{1,2}
(¹九州大学 生体防御医学研究所 発生工学実験室、²九州大学 生体防御医学研究所 ゲノム腫瘍学分野)
- P-85 Sf1-Cas9を利用したマウス受精卵でのゲノム編集
○加藤 花名子、壺岐 夏海、大徳 陽子、谷本 陽子、星野 貴一、高橋 智、八神 健一、水野 聖哉、杉山 文博
(筑波大学生命科学動物資源センター)
- P-86 ゲノム編集によるノックアウト/ノックインマウスの作製
○中村 衣里¹、多田 昇弘^{1,2}
(¹順天堂大学大学院老人性疾患病態・治療研究センター、²順天堂大学大学院アトピー疾患研究センター)
- P-87 CRISPR/Cas9と一本鎖オリゴによる受精卵での大きなゲノム領域のノックイン
○国広 弥生¹、吉見 一人²、金子 武人³、真下 知士¹
(¹大阪大学大学院医学系研究科附属動物実験施設、²国立遺伝学研究所系統生物研究センターマウス開発研究室、³京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)
- P-88 CRISPR/Cas9システムを用いた細胞質インジェクションによる遺伝子改変ラットの作製
○大口 悦宏、田中 貴雄、俊成 由紀、本村 翔、北浦 誠
(株式会社ケー・エー・シー GE動物事業室)
- P-89 高効率なゲノム編集技術を用いた免疫不全モデルマーモセットの作出
○佐藤 賢哉¹、汲田 和歌子¹、ヘンリー レイチェル²、佐久間 哲史³、伊藤 亮治¹、野津 量子¹、井上 貴史¹、岡原 則夫¹、岡原 純子¹、花澤 喜三郎⁴、ウェインステイン エドワード²、山本 卓³、岡野 栄之⁵、佐々木 えりか^{1,5}
(¹実験動物中央研究所マーモセット研究部応用発生学研究センター、²SAGE Labs、³広島大学、⁴順天堂大学練馬病院、⁵慶応大学)
- P-90 マーモセット遺伝子改変におけるCRISPR/Cas9システム有効性の検討
○汲田 和歌子¹、佐藤 賢哉¹、佐々木 えりか^{1,2,3}
(¹公益財団法人実験動物中央研究所、²慶應大学、³理化学研究所)
- P-91 エレクトロポレーション法を用いたゲノム編集動物作製法の開発
○金子 武人¹、真下 知士²
(¹京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設、²大阪大学医学部附属動物実験施設)

- P-92 電気穿孔法を用いたマウス凍結受精卵への遺伝子導入法の検討
○中野 堅太^{1,2}、高梨 理絵子¹、清水 有紀子¹、新井 哲也¹、岡村 匡史¹
(¹国立国際医療研究センター研究所、²北里大学大学院獣医学系研究科)
- P-93 腎発生関連遺伝子 *Sall1* をノックアウトしたラットの表現型解析
○後藤 哲平¹、原 弘真¹、保地 真一²、中内 啓光³、平林 真澄¹
(¹生理学研究所行動・代謝分子解析センター、²信州大学繊維学部、³東京大学医科学研究所)
- P-94 マウス胎児への臍前駆細胞移植法の開発
○関 信輔^{1,2}、山口 智之¹、中内 啓光¹
(¹東京大学医科学研究所幹細胞治療分野、²秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター)
- P-95 標的遺伝子ノックダウンによるII型糖尿病モデルマウスモセット作出の検討
○高橋 司^{1,2}、小林 憲太³、佐々木 えりか^{1,2}
(¹(公財) 実験動物中央研究所、²慶應義塾大学医学部、³生理学研究所)
- P-100 コンジェニックマッピングおよび遺伝子発現解析による皮膚がん抵抗性遺伝子座 *Stmm 1 a* の原因遺伝子探索
○奥村 和弘^{1,2}、齊藤 慈²、吉澤 康博²、磯貝 恵理子²、三浦 郁生³、若菜 茂晴³、木南 凌⁴、若林 雄一²
(¹千葉県がんセンター研究所腫瘍ゲノム研究室、²千葉県がんセンター研究所実験動物研究室、³理化学研究所BRCマウス表現型解析開発チーム、⁴新潟大学大学院医歯学総合研究科)
- P-101 新規 *Col2a1* 変異マウスを用いたトーランス型扁平椎異形成症の病態機序の検討
木村 允¹、市村 鋭¹、榊屋 啓志²、鈴木 智広²、若菜 茂晴²、○古市 達哉¹
(¹岩手大学獣医・実験動物学研究室、²理研バイオリソースセンター)
- P-102 多色蛍光標識プライマーを用いたSNP遺伝子型判定PCRとLNAの効果
○鈴木 治、小浦 美奈子、内尾 (山田) こずえ、佐々木 光穂、松田 潤一郎
(医薬基盤・健康・栄養研究所疾患モデル小動物研究室)
- P-103 CRISPR/Cas9 システムを用いた臍β細胞特異的にCre酵素発現するバイシストロニックCreドライバーマウスの開発
○長谷川 賀一¹、星野 貴一^{1,2}、アブデラジー イブラヒム¹、加藤 花名子¹、大徳 陽子¹、谷本 陽子¹、池田 祥久^{1,3}、大石 久史¹、高橋 智¹、吉木 淳⁴、八神 健一¹、伊関 大敬¹、水野 聖哉¹、杉山 文博¹
(¹筑波大学生命科学動物資源センター、²株式会社星野試験動物飼育所、³日本チャールスリバー株式会社、⁴理化学研究所バイオリソースセンター)
- P-104 マウスエクソームシーケンシングのためのコーディング配列濃縮法の検討
○小瀧 逸人¹、福村 龍太郎¹、トレイシー リュウ²、権藤 洋一¹
(¹理研バイオリソースセンター新規変異マウス研究開発チーム、²アジレントテクノロジーズ)
- P-105 SLA特異的単クローナル抗体によるSLA-1アリの発現解析
○大島 志乃¹、宮本 あすか¹、重成 敦子¹、木南 理仁¹、高須 正規²、松原 達也²、北川 均²、椎名 隆¹、安藤 麻子¹、亀谷 美恵¹
(¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²岐阜大学応用生物科学部獣医学講座)
- P-106 Cas9ヌクレアーゼを用いた網羅的な単一遺伝子ノックアウトマウス作製
○綾部 信哉¹、中島 謙一²、岩間 瑞穂¹、伊集院 麻衣子¹、中出 浩司²、村田 武英²、吉木 淳¹、小幡 裕一²
(¹理化学研究所バイオリソースセンター実験動物開発室、²理化学研究所バイオリソースセンター遺伝子材料開発室)

遺伝・育種・遺伝子機能

- P-96 新たな優性白斑変異マウスの遺伝解析
○前川 智樹¹、加藤 碩人¹、鈴木 京²、小林 美里²、高橋 雅英³、堀尾 文彦²、大野 民生¹
(¹名大院・医・実験動物、²名大院・生命農・動物栄養、³名大院・医・腫瘍病理)
- P-97 パラクリン型Wntシグナルがマウス未分化精原細胞に果たす役割
○高瀬 比菜子^{1,2}、Roel Nusse²
(¹東京医科歯科大学疾患モデル動物解析学分野、²米国家スタンフォード大学医科大学)
- P-98 ChIP sequencing をもちいた皮膚腫瘍における *Meis1* の機能解析
○吉澤 康博^{1,2}、奥村 和弘¹、齊藤 慈^{1,2}、青戸 良賢³、磯貝 恵理子¹、榊原 康文³、若林 雄一¹
(¹千葉県がんセンター研究所・実験動物研究室、²千葉大学大学院医学研究院、³慶應義塾大学理工学研究所基礎理工学専攻)
- P-99 B6系マウスから見出された毛色異常突然変異体における *Mc1r* 遺伝子欠損
○高林 秀次、加藤 秀樹
(浜松医科大学先端医学教育研究センター医用動物資源支援部)